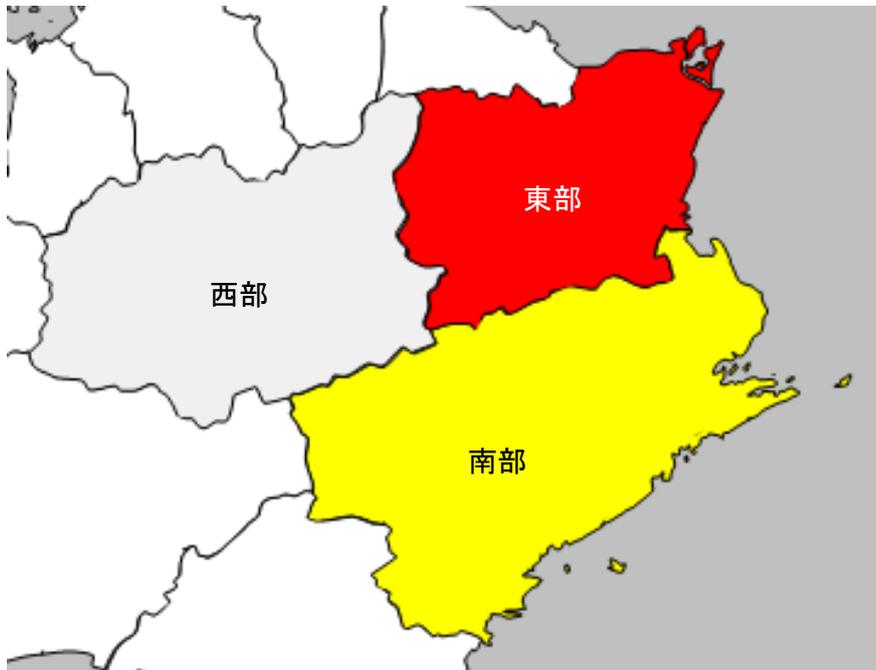


36. 徳島県



3 6 徳島県

A. 医療提供体制の現状

徳島県の特徴は、(1) 全国平均を大きく上回る病床、医師、看護師、(2) 東部（徳島）、南部（小松島）への集中である。

(1) 豊富な医療資源、特に多い療養病床、回復期病床、精神病床

全県を通しての人口当たりの総病床数の偏差値が 65、一般病床が 57、療養病床 65、精神病床 62、総医師数が 58（病院勤務医数 57、診療所医師 59）、総看護師数が 63、全身麻酔数 50 と、病床数、医師数、看護師数は全国平均を大きく上回り、全身麻酔数は全国平均である。豊富な医療資源、特に療養病床と精神病床が多いことが、徳島県の特徴である。

(2) 東部（徳島）、南部（小松島）への集中

徳島市と小松島市は隣接し、徳島市には徳島大学、県立病院、市民病院が、小松島には赤十字病院があり、これらの地域は一体のエリアと考えられる。この2つの医療圏に徳島県の人口が集中するが、それ以上に医師数や全身麻酔数が集中している。この2つの医療圏を一体の医療圏と考えるとすると、徳島県は日本で一番の一極集中型の都道府県であり、この地域の医療提供の過剰感が強い。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(東部)

東部は、東部Ⅰ（徳島）と東部Ⅱ（吉野川）が合併して出来た新しい医療圏であり、人口約 54 万人、面積 1,016/km²、人口密度は約 530 人/km²の、地方都市型二次医療圏である。東部には、徳島大学（710 床、全麻 3,000 件以上）があり、年間 2,000 件以上の全麻を行う徳島市民病院、年間 1,000 件以上の全麻を行う徳島県立中央病院（救命救急）があり、徳島県全域から患者が集まってくる。また鳴門には、年間 500 件以上の鳴門病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 66（一般病床 55、療養病床 69、精神病床 63）、総医師数が 60（病院勤務医数 59、診療所医師 60）、総看護師数 64、全身麻酔数 50 と、非常に充実した医療提供体制であるが、現在でも過剰感が強い。また、療養病棟、精神病床も非常に多く、総高齢者ベッド数も偏差値 64 と、非常に充実している。

2010→40 年の徳島県全体の総医療需要が 6%減、0-64 歳の医療需要が 41%減、東部の総医療需要が 2%増、0-64 歳の医療需要が 38%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。医師養成数の適正化と徳島や小松島で働く医師

が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。同時に、75歳以上医療需要の42%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

(南部)

南部は、南部部Ⅰ（小松島）と南部部Ⅱ（三波町）が合併して出来た新しい医療圏である。南部は、人口約16万人、面積1,724/km²、人口密度は約90人/km²であり、過疎型二次医療圏である。1,000km²を超える医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。全身麻酔年間3,000件を超える徳島赤十字病院（救命救急、DPCⅡ群）、年間500件以上の阿南共栄病院や、徳島県立海部病院がある。徳島日赤は、徳島市南部や徳島県南部の患者を数多く受け入れている一方、南部から徳島の医療機関を受診する患者も多い。

人口当たりの総病床数の偏差値は57（一般病床64、療養病床53、精神病床46）、総医師数が58（病院勤務医数56、診療所医師63）、総看護師数59、全身麻酔数57であり、過疎型医療圏としては極めて高い医療資源量である。療養病床は多いが、総高齢者ベッド数は偏差値53である。

この地域は2010→40年の医療の総需要が18%減、0-64歳が43%減、75歳以上が7%増であり、将来に向けて、一般病床の削減や、療養、亜急性期、回復期への転換、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

(西部)

西部は、西部Ⅰ（美馬）、西部Ⅱ（三好）が合併して出来た新しい医療圏である。西部は、吉野川上流沿いに広がる徳島県の山間部に広がる人口約9万人、面積1,406/km²、人口密度は約60人/km²の、過疎型二次医療圏である。1,000km²を超える医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。全身麻酔年間250件を超える県立三好病院（救命救急）、年間100件以上のつるぎ町立半田病院があるが、徳島の医療機関を受診する患者も多い。

人口当たりの総病床数の偏差値は73（一般病床55、療養病床65、精神病床82）、総医師数が50（病院勤務医数51、診療所医師49）、総看護師数62、全身麻酔数37と、病床数が極めて多く、看護師数も多いが、病院勤務医数と全身麻酔数が少ない。

2010→40年の医療の総需要が31%減、0-64歳が55%減、75歳以上が15%減であり、地域内の医療機関の集約とネットワークの強化が必要であろう。また、東部や南部からの支援や連携の強化することにより医療機能を維持することが求められる。

表 36-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口密度	地域タイプ	高齢 化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
徳島県	785,491	44位	4,147	36位	189.4		27%	-27%	25%
東部	540,942	69%	1,016	25%	532.2	地方都市型	25%	-23%	42%
南部	156,580	20%	1,724	42%	90.8	過疎型	30%	-33%	7%
西部	87,969	11%	1,406	34%	62.6	過疎型	34%	-44%	-15%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 36-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
徳島県	114	1.3%	14.5	70	759	0.8%	97	60
東部	73	64%	13.5	67	551	73%	102	62
南部	21	18%	13.4	67	127	17%	81	52
西部	20	18%	22.7	90	81	11%	92	57
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 36-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
徳島県	15,046	1.0%	1,915	65	2,240	1.8%	285	68
東部	10,616	71%	1,963	66	1,772	79%	328	72
南部	2,407	16%	1,537	57	176	8%	112	51
西部	2,023	13%	2,300	73	292	13%	332	72
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 36-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
徳島県	759	0.8%	97	60	613	0.7%	78	54	146	1.5%	18.6	66
東部	551	73%	102	62	436	71%	81	56	115	79%	21.3	70
南部	127	17%	81	52	115	19%	73	52	12	8%	7.7	50
西部	81	11%	92	57	62	10%	70	50	19	13%	21.6	70
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 36-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
徳島県	6,671	0.7%	849	57	4,332	1.3%	552	65	3,978	1.2%	506	62
東部	4,356	65%	805	55	3,343	77%	618	69	2,879	72%	532	63
南部	1,608	24%	1,027	64	503	12%	321	53	283	7%	181	46
西部	707	11%	804	55	486	11%	552	65	816	21%	928	82
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 36-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				全身麻酔件数			
	救命救急センター	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
徳島県	3	1.5%	3.8	60	4	1.1%	5.1	56	15,864	0.6%	2,020	50
東部	1	33%	1.8	51	3	75%	5.5	57	11,016	69%	2,036	50
南部	1	33%	6.4	72	1	25%	6.4	60	4,152	26%	2,652	57
西部	1	33%	11.4	94	0	0%	0	42	696	4%	791	37
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 36-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数				病院勤務医数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
徳島県	2,545	0.8%	324	58	1,575	0.8%	201	57	970	0.8%	124	59
東部	1,812	71%	335	60	1,134	72%	210	59	678	70%	125	60
南部	509	20%	325	58	299	19%	191	56	210	22%	134	63
西部	224	9%	254	50	142	9%	161	51	82	8%	93	49
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 36-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
徳島県	9,092	0.9%	1,157	63	7,353	0.9%	936	62	1,739	1.0%	221	61
東部	6,454	71%	1,193	64	5,103	69%	943	62	1,351	78%	250	65
南部	1,636	18%	1,045	59	1,416	19%	904	60	221	13%	141	50
西部	1,002	11%	1,139	62	834	11%	948	62	168	10%	191	57
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

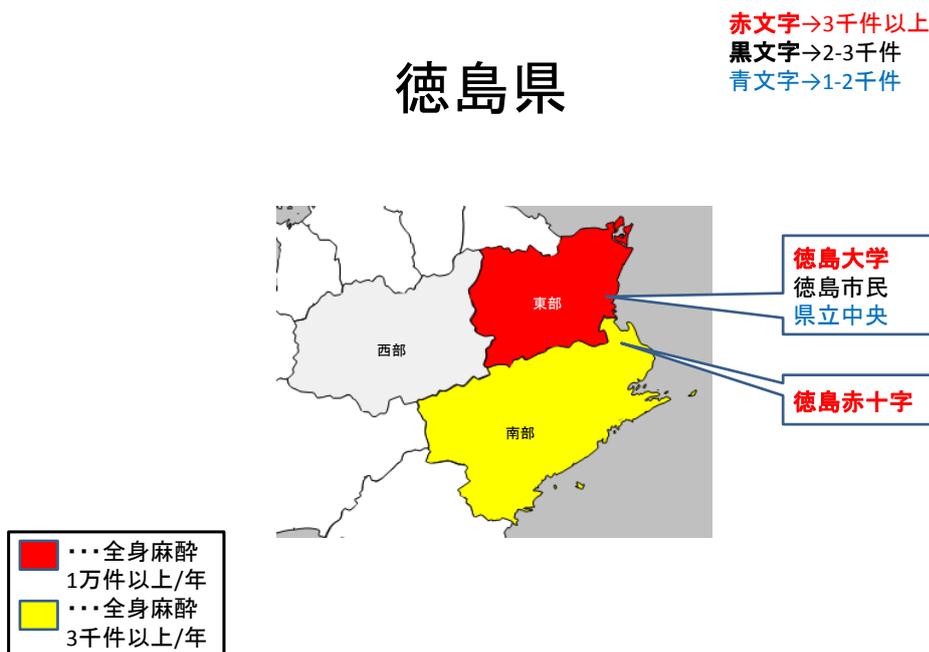
表 36-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
徳島県	1,115	1.2%	142	66	748	1.2%	95	60
東部	834	75%	154	69	588	79%	109	63
南部	175	16%	112	59	132	18%	84	58
西部	106	9%	120	61	28	4%	32	46
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病棟連絡協議会			

表 36-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
徳島県	155	1.1%	13.6	57	20	2.6%	1.8	69	68	1.0%	6.0	57
東部	117	75%	16.8	63	12	60%	1.7	68	50	74%	7.2	65
南部	23	15%	9.0	48	4	20%	1.6	66	11	16%	4.3	46
西部	15	10%	8.1	46	4	20%	2.2	75	7	10%	3.8	43
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 36-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 36-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国	75歳以上	偏差値	介護保険 施設 ベッド数	全国	75歳以上	偏差値	総高齢者 住宅数	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
徳島県	16,519	1.0%	145	60	9,242	1.0%	81	62	7,277	1.0%	64	55
東部	10,756	65%	154	64	5,596	61%	80	61	5,160	71%	74	60
南部	3,301	20%	129	53	2,113	23%	82	63	1,188	16%	46	46
西部	2,462	15%	132	55	1,533	17%	82	63	929	13%	50	48
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数 の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人 ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の 合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢 者住宅、その他の合計			

表 36-12 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健 施設(老健) 収容数	全国	75歳以上	偏差値	特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国	75歳以上	偏差値	介護療養 病床数	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
徳島県	4,109	1.2%	36	69	3,506	0.7%	31	45	1,627	1.9%	14.3	66
東部	2,595	63%	37	71	1,785	51%	26	40	1,216	75%	17.4	71
南部	823	20%	32	62	1,015	29%	40	54	275	17%	10.7	59
西部	691	17%	37	71	706	20%	38	52	136	8%	7.3	52
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 36-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム				グループホーム				高齢者住宅			
	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		22.3	(16.7)			12.2	(5.9)			6.3	(4.0)	
徳島県	1,075	0.3%	9.4	42	2,288	1.3%	20.1	63	1,198	1.4%	10.5	61
東部	1,000	93%	14.3	45	1,572	69%	22.5	67	1,045	87%	15.0	72
南部	16	1%	0.6	37	396	17%	15.4	56	66	6%	2.6	41
西部	59	5%	3.2	39	320	14%	17.2	59	87	7%	4.7	46
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 36-14 ~64歳人口、75歳以上人口の推移

二次医療圏	~64歳人口			2010年を100とした ~64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした 75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
徳島県	475,414	409,300	341,196	83	71	59	129,177	152,958	142,640	113	134	125
東部	344,631	301,550	252,726	84	74	62	84,042	103,947	99,238	120	149	142
南部	87,961	74,723	62,446	80	68	57	28,055	31,328	27,539	109	122	107
西部	42,822	33,027	26,024	74	57	45	17,080	17,683	15,863	92	95	85
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 36-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	総介護需要 増減率
全国		10%	-30%	58%	50%
徳島県		-6%	-41%	25%	21%
東部	地方都市型	2%	-38%	42%	37%
南部	過疎型	-18%	-43%	7%	3%
西部	過疎型	-31%	-55%	-15%	-17%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 36-2 徳島県 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測

